

～紙芝居をもって全島めぐり～ NPO 法人「国境の島つしまネットワーク」



NPO = ボランティア団体や市民活動団体などの「民間非営利組織」。株式会社などの営利企業とは違い、「利益追求でなく、社会的な使命の実現を目指して活動する組織や団体」のこと。

地球環境の汚染が人類の大きな課題となる中、対馬でもかつての美しくのどかなふるさとの風景が序々に減少してきています。

NPO「国境の島つしまネットワーク」は昨年6月から今年3月までの間、島内の小学校及び保育所等合わせて14施設で、環境問題をテーマにしたオリジナルの紙芝居公演を実施しました。

将来の島の担い手である子供達に、環境問題やNPOの活動について理解してもらおうと、平成17年度の財団法人自治総合センターの環境保全事業の助成

を受けて行われたものです。

紙芝居は、子ども達が内容を理解しやすいようにと対馬の方言を使って上演され、大好評でした。

公演したメンバーの感想「また来てね！次もやってね！もうゴミは散らかささんよ！」という子ども達の言葉を聞いただけでも「やってよかった！」と思わずにはいられません。

環境問題について考えてもらうことで、自分たちの住む地域に対して、関心を持つきっかけになったと確信しています。

この環境保全事業は全国モニターポータル競走施行者協議会からの助成を受けて実施されました。

命を救う技術を身につけませんか？
相談に私がお答えいたします。



対馬市初の応急手当普及員
中島美香さん(美津島町鴨居瀬)

対馬での応急手当の普及を目指す中島美香さんを紹介いたします。

今から24年前、当時8歳だった中島さんは、父親を心臓突然死により失いました。父の死を目のあたりにし、悲しさと同時に「何もしなければならなかった」との思いは、今も変わらず持っているそうです。

このことがきっかけとなり応急手当の知識と技術を身につけようと、平成15年に普通救命講習を受講し、翌年には上級救命講習、そして今年の3月に普通救命講習の指導資格を有する応急手当普及員の認定証を、対馬市では初めて手にしま

した。

「救命救命の大切さを知りながら、真剣に考えてもらえない最大の理由は、身近にそういつた経験がないから」と語る中島さん。自分と同じ思いを他の人に味わって欲しくないという一心から、今後、応急手当の普及活動を行っていきたいと意気込んでおられます。

「応急手当について知りたけれど、どこで教えてもらえるの？」といった素朴な疑問や相談に、ご本人がお答えいたします。

問合せは、
0920
(55)0801まで

市長の動き

5月

- 1日 辞令交付式
- 10日 全国漁港漁場協会 理事会 (東京)
- 12日 日韓学生つしま会議 打合せ会
- 15日 対馬市議会臨時会
- 16日 18日 九州市長会 (鹿児島)
- 19日 20日 県漁港漁場協会 理事会 (長崎)
- 21日 24日 東京対馬会定期総会、東京対馬会議、漁港漁場漁村技術研究所理事會、全国漁港海岸防災協会総会、全国漁港漁場協会総会、漁港漁場議員連盟総会 (東京)
- 25日 26日 県離島振興協議会 理事会・総会、県過疎地域自立促進協議会理事会・総会 (長崎)
- 26日 市政説明会 (豊小学校区)
- 29日 佐須坂トンネル期成会 総会
- 30日 31日 県知事の市町長とのブロック別意見交換会 (長崎)

5月13日、神戸から220名の乗客を乗せて遊覧航海中の豪華客船「ふじ丸」が、美津島町の三浦湾へ寄港し、対馬市及び対馬観光物産協会等による歓迎セレモニーが船内で催されました。

午前11時から始まったセレモニーでは、長町忠一同協会会長が歓迎の挨拶を行い、船長及び船客代表者への花束贈呈、記念品交換につづいて、対馬高校国際交流部の生徒6名が韓国の伝統芸能サムルノリを披露しました。

「ふじ丸」の対馬への寄港は、2年ぶり2回目。今回の航海は、大阪府立大手前高校の同窓生がチャーターしたもので、12日に神戸港を出航後、4泊5日の行程で対馬-平戸-壱岐に寄港し、各地の観光名所を巡ろうという船旅。

この日、乗客らはセレモニー終了後上陸し、夕方までの半日の間、貸し切りバスやポートを使って対馬を観光しました。



ふじ丸
船籍：日本 船主：三井商船 総トン数：23,235トン
全長：167m 旅客定員：163室 600名



サムルノリを披露する
対馬国際交流部

豪華客船「ふじ丸」三浦湾へ寄港

乗客220名が対馬を観光



下船し、観光へ向かう乗客たち



乗客らと記念撮影
(中央が長町会長と船長)

県小学生学年別柔道大会で3位入賞

玄武会の財部茜さん(上対馬町琴)



4月23日、長崎市内で開催された第3回長崎県小学生学年別柔道大会(主催:長崎県柔道協会・(財)KTNスポーツ振興財団)に出場した財部茜さん(11歳)が、小学6年女子45kg超級の部で見事3位入賞を果たしました。

この大会は、平成26年に長崎県で開催される国体選手の養成を目的で開催されているもので、県内の有力選手が参加するレベルの高い競技会。同種目には11名が出場し、強豪相手に2勝を上げる活躍を見せました。

茜さんは、玄武会(佐須奈少年柔道クラブ)で、小学1年の時から柔道を続けており、得意技は足払いと体落とし。将来の目標は谷亮子とのこと。オリンピック選手目指して頑張ってください。

はくじゅ 白寿(99歳)のお祝い

和久藤次郎さん

5月20日、99歳を迎えた久田の和久藤次郎さんに、対馬市から白寿のお祝いとして敬老祝い金が贈られました。

和久さんは、旧町時代に農業のかたわら町議会議員を8期務めた方で、今もお元気に時々耕運機を運転されるそうです。

また、4年前から1歳年下の奥様の介護をされ、同居の息子さん夫婦にも任せないとのこと。長生きの秘訣をお聞きすると「物事をくよくよ考えない。前向きに考える」と答えていただきました。今の楽しみは、奥様の介護と毎日のお酒、そしてお孫さんたちとの会話と明るく話されました。



豊玉町民体育祭



4月29日のみどりの日、恒例の豊玉町民体育祭が豊玉中グラウンドで開催されました。

体育祭は5つの小学校区対抗戦で、トラック&フィールド競技が行われました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、今年も様々な競技で熱戦が繰り広げられました。

各地区対抗ということもあり、応援も盛り上がりました。結果は次のとおりです。

優勝 = 乙宮地区、2位 = 仁位地区、3位 = 加志々地区、4位 = 網島地区、5位 = 塩戸地区



わたしに
名前をつけてね
対州馬の赤ちゃん(メス)
名前募集!

5月7日の午前6時05分、目保呂ダム馬事公園で対州馬の赤ちゃん(メス)が誕生しました。現在も元気に母馬のミルクを飲んでいますが、このたび、名前を募集することになりましたので、ぜひご応募ください。

募集期間 / 6月30日(金)まで

当日消印有効

応募方法 / 官製はがきに対州馬の名前、応募者の氏名、年齢、住所、電話番号を明記し、下記まで送付してください。

送付先 / 〒817-1692

対馬市上県町佐須奈甲567-3

上県支所地域振興課(担当:豊田)まで

: 0920-84-2311

賞品 / 乗馬体験無料(4回分)と記念品(Tシャツ)(採用させていただいた方の中から抽選で1名さま)

発表 / 広報つしま8月号でお知らせします。

【備考】母馬の名前: モンチャン号

父馬の名前: 優平

ちよつとしい話

対馬人の心

5月の初め、市長あてに大分県のご婦人からお手紙を頂戴しました。この方は体がご不自由で車椅子なしでは移動できないのですが、ご夫婦で見知らぬ土地への旅行を楽しんでおられる方でした。

手紙は、昨年のゴールデンウィークの旅行中に対馬で受けた人々の優しさに対する感謝の内容でした。

ご夫婦は、旅行中に余分な現金を持たず、必要に応じて銀行で下ろしながら旅行を続けるのですが、ゴールデンウィーク期間中は、対馬の銀行で大分銀行のカードが使えず、旅行をあきらめようとした時に、地元新聞社のT夫妻から、銀行への問合せや親身に話を聞いてもらった上、見ず知らずの自分達にお金まで貸してもらったそうです。

また翌日行った「ひとつばたご祭り」の会場では、海栗島に渡るうとした時、あいにく乗船券が手に入らず、渡るところをあきらめた時、遠くからわざわざ来たのだから乗せて

あげる」と、船長さんの計らいで渡れた事。海栗島では、体の不自由な自分に対して自衛官が車を用意してくれていた事がとても嬉しかったそうです。さらに翌日には、ご主人が財布を落としたことに気付いた時、戻ってこないとききらめていたのですが、宿泊したホテルがちゃんと保管してくれていた事。

大分に帰って、T夫妻にお金を送金すれば、自分達が迷惑をかけたのに、対馬の海産物を沢山送ってくれた事など対馬の人々の温かい気持ちに触れとても感激したと書かれています。

そして対馬大好きになったご夫婦は、今年もまたゴールデンウィークに対馬を訪ねてこられました。

この手紙を拝見して、対馬のたくさんの方々が、「人をもてなす心」「優しさ」を持っているのだなと思いました。

また、ただ持っているのではなく、行動にも移せるのですからとても誇らしく思えました。こんな対馬人の心意気がいつまでも続いて、対馬を愛してくださる島外の方が増えることを期待したいと思います。

地域の皆様へ

『長崎っ子の心を見つめる』教育週間

時期:6月から7月の間の1週間

目的:命を大切にし他人を思いやる心豊かな子ども

「命を大切にし他人を思いやる心豊かな子ども」の育成を目指し、平成16年度から始まった「長崎っ子の心を見つめる」教育週間も本年度で3年目となりました。全国的に児童生徒が犠牲となる事件・事故が相次ぎ、命の尊さが叫ばれる中、学校と家庭や地域がより緊密に連携・協力して、子どもたちの健やかな心の成長を図っていきたく考えています。

3年目となる本年度は、これまでの実践の成果を踏まえ、地域や学校の実情に応じて、6月から7月の間

の1週間を教育週間として設定し、学校・家庭・地域の連携を一層深めるための取組を充実させます。期間中は県内全ての公立小中学校が開放され、道徳の授業公開をはじめとして各学校が創意工夫した取組を行います。「郷土の子どもは郷土の大人が育てる」といった観点から、保護者の方だけでなく地域にお住まいの多くの皆さんにぜひ学校へ足をお運びいただき、地域の子もたちを見守ってほしいと考えています。

「学校へ行こう」

学校が開放されます!

- ・全ての教育活動を公開します。
- ・学校開放推進委員会を設置しています。
- ・道徳授業等を公開します。
- ・地域のボランティア活動やスポーツ大会等が実施されます。
- ・ゲストティーチャーなど地域の方々が参加されます。
- ・教師・親・地域住民の語る会等が実施されます。

「郷土の子どもは郷土の大人が育てる」

家庭

学校

地域社会

対馬市教育委員会 (0920-86-3212) 問い合わせ: 学校教育課・地域の各小・中学校

●●● スポーツ安全保険加入のご案内 ●●●

この保険は、スポーツ・文化・ボランティア・地域活動などを行う5名以上のアマチュアの団体やグループを対象にしています。万一の事故にそなえてぜひご加入ください。

加入期間 2006年3月1日から2007年3月30日まで
 保険期間 2006年4月1日から2007年3月31日まで
 問合せ先 対馬市教育委員会 生涯学習課又は教育委員会各地区生涯学習センター
 TEL (0920)86-3727

団体	対象	加入区分	対象となる事故の範囲	掛金 (1人年額)	傷害保険				賠償責任保険 (補償限度額)	共済見舞金
					死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子どもの団体	・中学生以下の子ども ・スポーツ活動を行わない大人	A	団体活動中とその往復中	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 財物賠償 1事故 500万円 (各免責 1,000円)	突然死 (急性心不全、脳内出血など) 160万円
	・中学生以下の子ども	AW	団体活動中とその往復中	1,050円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	上記補償に 身体・財物賠償 合算で 1事故 500万円を加算	対象となりません
		C	団体活動中とその往復中以外		100万円	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償 合算で 1事故 500万円 (免責 1,000円)	
大人の団体	・子どもと一緒に スポーツ活動を行う 大人(指導者など)	AC	団体活動中とその往復中	1,000円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 財物賠償 1事故 500万円 (各免責 1,000円)	突然死 (急性心不全、脳内出血など) 160万円
	C	1,500円		2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円			
	・大人の文化活動、ボラン ティア活動、地域活動 (スポーツの指導、審判、ダンス、 踊りなどを除く)	A	団体活動中とその往復中	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 (免責 1,000円) 財物賠償 500万円 (各免責 1,000円)	突然死 (急性心不全、脳内出血など) 160万円
	・老人クラブなど (60歳以上)	B		800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
・大人のスポーツ活動 (野外活動、身体運動を含む)	C	1,500円		2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円			
・危険度の高いスポーツ活動 (アメリカンフットボール、山岳登山など)	D	9,000円		500万円	750万円	1,800円	1,000円			